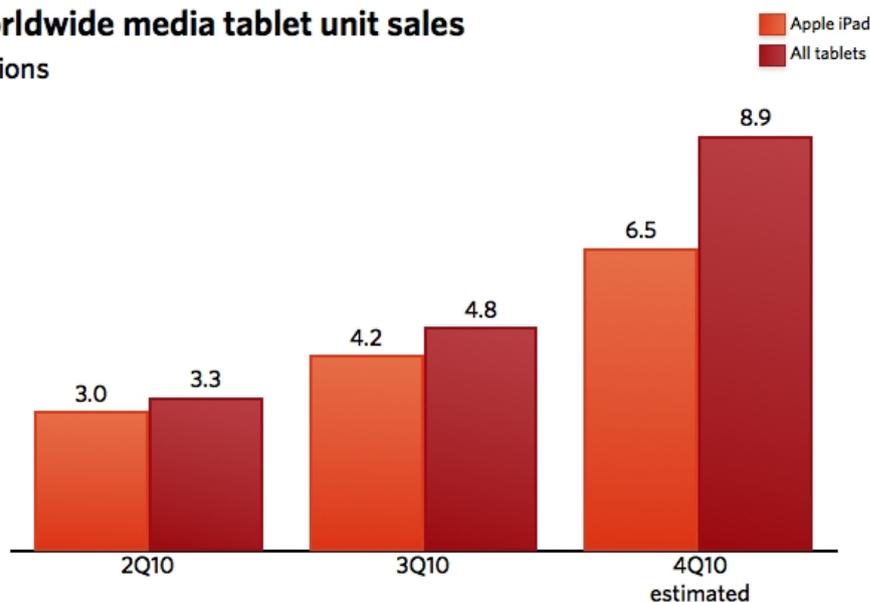


アメリカのIDC（市場調査会社）は1月18日、世界のメディアタブレットと電子書籍リーダー市場に関する調査書を発表した。これによると、2010年第3四半期のメディアタブレット分野は、予想通りアップルの「iPad」が87%と圧倒的なシェアを奪った。タブレット全体の出荷台数は480万台で、前期から45.1%伸びた。ということは、「iPad」は420万台近く出荷されたことになる。IDCでは今後、「Android」などほかのOS搭載のタブレットがシェアを伸ばし、2011年は2倍以上の成長を遂げ、総出荷台数は1700万台近くに達すると予想している。

Worldwide media tablet unit sales

Millions



Source: IDC



一方、電子書籍リーダーは、2010年第3四半期は、第2四半期比40%増の270万台を出荷。そのうちの約4分の3がアメリカという。つまり、アメリカ以外電子書籍リーダーは普及していないということだ。ちなみにベンダー別シェアは、Amazonが41.5%、Pandigitalが16.1%、Barnes and Nobleが15.4%、ソニーが8.4%、Hanvonが8.2%となっている。今後の市場規模に関しては、2010年通年では1080万台近くが出荷されると予想している。